

勉強の仕方の工夫

シリーズその4

★★「何がわからないかわからない」はどうすればよいか？★★

確認する

「何がわからないかわからない」ときは、問題集やテストを活用して、理解できていないところを見つけよう。

わからないところを見つけよう！

⇒ 問題集を解く . . . 自主学習講座を活用しよう！

- ・中学で習う内容が網羅されている問題集を一冊用意して、最初のページから解いていこう。
- ・途中を飛ばしたりせず、全部の問題を解ききることが大事です。

⇒ テストの答案の見直しをする

- ・今まで受けてきたテストの答案を見直して、どの問題が解けなかったのか確認しよう。
- ・不注意によって解けなかったのか、理解不足によって解けなかったのか、振り返ろう。

○間違い直しノートを作ろう！○

問題集やテストで解けなかった問題をノートにまとめよう。

間違えた理由や解き方、公式、語呂合わせなどの理解に必要な情報を書き込むと、試験直前の見直しに役立ちます。

問題 間違えた理由	公式 ・文法 ・語呂合わせ など
解き方 ・解答解説	

復習になるだけでなく、間違いやすい所がまとめられた、自分専用のノートができます。

理解する

解けなかったところは、問題集やテストの解答・解説、教科書、ノート、参考書などで勉強し直そう。

- ・教科書を読み返す
- ・文章や図・表にまとめる
- ・先生や友達に質問する
- ・友達に説明する

納得するまでやろう！

定着させる

勉強し直して理解できたら、解けなかった問題を解き直すことや、繰り返し勉強することが大切です。

- ・繰り返し書く
- ・繰り返し音読する
- ・練習問題をたくさん解く
- ・友達と問題を出し合う

ヒントなしで解けたら定着した証！